

菰野町地域公共交通会議 平成 20 年 4 月 23 日設置

フィーダー系統 平成 27 年 6 月 26 日確保維持計画策定

1. 協議会が目指す地域公共交通の姿

● 地域の特性と背景

本町は、市街化区域や公共施設、鉄道駅などが南部に集中しており、特に北部の住民は、駅の利用や買い物などのために南部や隣接市へ移動する必要がある。

本町が運行している公共交通は、コミュニティバスとあいあい自動車（公共交通空白地有償運送）ある。

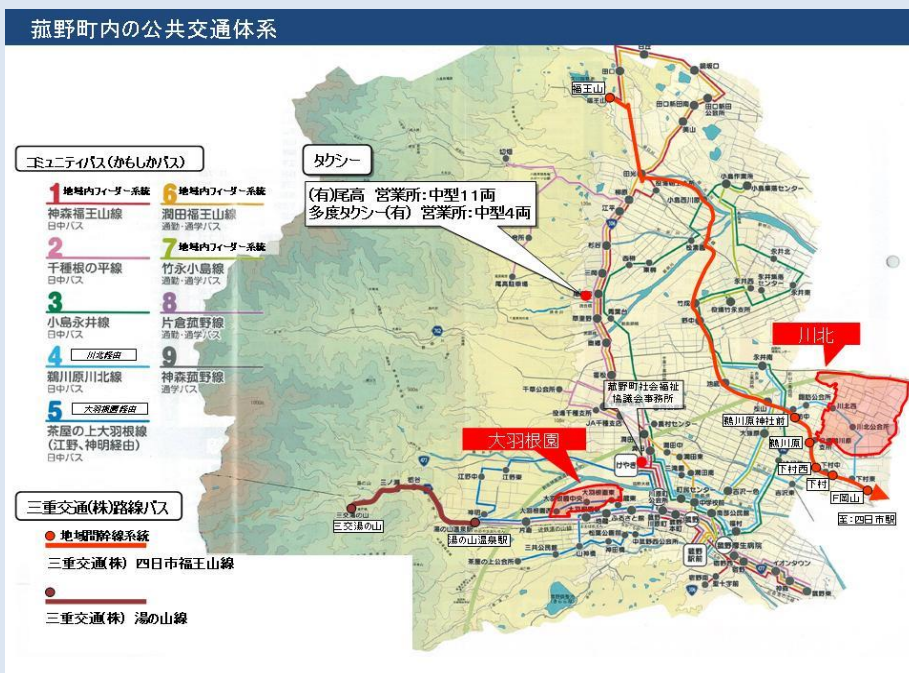
コミュニティバスは、自分で交通手段を確保できない人を対象として運行していた福祉バスと、民間事業者の路線バスの撤退により運行していた廃止代替バスを統合し、平成 16 年 4 月から実験運行を開始し、利用者をはじめ各方面からの意見を踏まえ、平成 17 年 10 月から本格運行を開始した。

一方、あいあい自動車は、地域の共助による高齢者や障がいのある方に対する移動支援を目的に平成 28 年 2 月から 2 つのモデル区域にて運行区域を町内に限定し、実証運行を開始している。

● 公共交通の将来像

コミュニティバス、あいあい自動車と民間事業者の路線バス、タクシーなど、既存の交通機関との最適なバランスとそれらを補完する公共交通の運行を見据え、平成 30 年 4 月から新たな交通体系の構築を目指している。

公共交通ネットワークイメージ図



2. 計画の達成状況の評価に関する事項

● 評価指標及び評価基準(網全体、および各地区・路線・サービス等)

現在、地域内フィーダー系統確保維持計画にて、年当たりの乗車人員の目標を設定している。目標値については、平成26年4月～平成27年3月までの同一路線の同一区間の路線の実績を元に設定している。

また、町内の最適な交通体系を構築することを目的に、「菟野町地域公共交通のあり方検討会」を開催し、学識経験者、交通事業者、住民代表、中部運輸局、町社会福祉協議会、行政などによる協議を行っており、その結果などを踏まえて、今後の網計画の策定や網全体での目標設定についても検討していきたいと考えている。

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

● 域内の公共交通の概要、問題点、実施内容

町内には、三重交通株が運行する路線バス、(有)尾高が運行するタクシー、町が運行するコミュニティバスなどがある。

特に、コミュニティバスについては、運行開始からおよそ10年が経ち、利用者数が減少傾向にあったため、平成27年11月から以下の見直しを行った。

- ・ 通勤・通学バス(朝夕便)の増便
- ・ 近鉄湯の山線、三重交通高速バスへのアクセスの向上
- ・ 利用者数が少ない便の廃止・時間帯の変更
- ・ 茶屋の上線・大羽根線(日中バス)の統合

また、平成28年9月から、子育て支援の一環として通学者の利便性を図るとともに、高齢者や障がい者がより使いやすい料金設定とするため、フリー乗車券の料金を一部見直した。

一方、地域の高齢者から通院や買い物などに利用するための移動手段の確保の要望や、今後の高齢化社会に対応するための施策の一環として、平成28年2月から町社会福祉協議会が運行主体となり、あいあい自動車(公共交通空白地有償運送)を開始した。

**コミュニティバスのフリー乗車券で
お得にご利用いただけます!**

毎日の通勤、通学、病院などのご利用には、「かしこい!」全乗車のフリー乗り放題な「フリー乗車券」がお得です。また、今年9月1日から学生、高齢者・障がい者の料金が安くなり、さらにお得にご利用いただけます。

フリー乗車券料金表					
	12ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月	学期
一般	9,000	24,000	42,000	72,000	—
学生	4,400	11,500	20,000	34,000	14,000
高齢者・障がい者	3,000	7,500	13,000	22,000	—
通学小学生	3,000	7,500	—	—	9,500

※学生：小学生、中学生、高校生
 ※高齢者：65歳以上の市民(障がい者・障がい者で乗車券を持っていない市民)
 ※障がい者：身体障害者(身体障害者手帳)所持者(身体障害者手帳を所持していない)
 ※学期の範囲：1学期(4月1日～7月31日) 2学期(10月1日～3月31日)

ご利用期間
 毎月1日から月末まで1ヶ月とし、1月中での範囲は行いません。例えば、9月24日に1ヶ月乗車券を購入した場合の有効期間は、10月1日から10月31日までとなります。

購入方法
 町社会福祉協議会(のりこ)で事前に受付を行い、受付日の翌日以降に総務課で受渡します。
 (受付：平日9:00～17:15) 休日・年末年始は休館期間(休日(祭日)を除く)でも販売し、即日発行いたします(毎日/9:00～20:00)。

乗車方法
 乗車開始日の7日前から乗券します。また、乗券開始日の14日前から現在使用中のフリー乗車券と引換えに乗り換えます。

お問い合わせ先
 町社会福祉協議会(のりこ) TEL 059-381-1102 FAX 059-384-3199
 三重交通株(バス営業課) TEL 059-323-0800



3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

- 協議会の開催状況、議論の概要（予定を含む）

平成 27 年 10 月 13 日 平成 27 年度第 2 回菰野町地域公共交通会議

- ・ 菰野町地域公共交通会議設置要綱の一部改正について（報告）
- ・ 公共交通空白地有償運送の必要性について（協議）合意（多数決による）

平成 27 年 12 月 22 日 平成 27 年度第 3 回菰野町地域公共交通会議

- ・ 公共交通空白地有償運送の運用について（協議）合意

平成 28 年 6 月 29 日 平成 28 年度第 1 回菰野町地域公共交通会議

- ・ 菰野町公共交通の検証方法について（報告）
- ・ コミュニティバスのフリー乗車券の料金見直し（案）について（協議）合意
- ・ 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について（協議）合意

4. 具体的取組みに対する評価

- コミュニティバスの利用状況

平成 27 年 11 月の運行見直しにより、主に交通弱者が通院や買い物などに利用する日中バスについては、利用が少ない便を減らしたり、一部路線の統合を実施したために、利用者が前年比で減少していたが、8 月からは増加しつつある。また、通勤・通学バスについては、主に増便をし、3 月までは利用者数が前年比で減少傾向にあったが、4 月からは大きく増加している。

コミュニティバス利用者数

	平成 27 年度 (H26.10.1~H27.9.30)	平成 28 年度 (H27.10.1~H28.9.30)	増減	対前年比
利用者数	53,478	53,919	441	100.8%

- ・ 地域内フィーダー系統の利用状況

平成 27 年 11 月の運行見直しから新たに運行を開始した便であり、平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月の同様の運行区間の実績を元に設定しているが、4 路線のうち、3 路線は目標を達成し、1 路線は目標を大きく下回った。

4. 具体的取組みに対する評価

フィーダー系統利用者数

対象路線	利用者数		目標値 (人/年)	増減	対目標値
	H27.11.2～ H28.9.30	年換算 (11ヶ月 ⇒年)			
(1)神森福王山	1,748	1,907	400	1,507	476.8%
(2)潤田福王山	1,500	1,636	3,200	▲1,564	51.1%
(3)潤田福王山	1,270	1,385	1,050	335	131.9%
(4)竹永小島	1,712	1,868	1,450	418	128.8%

※ (2)と(3)は同一路線だが、起点が異なるため、分けている。

● あいあい自動車の利用状況

各区域の運行実績については、以下のとおりであるが、両区域とも登録者数が伸びていないのが現状である。また、川北においては、全く利用がされていない月がある。

あいあい自動車運行実績

大羽根園（H28.2.1 運行開始）

月	時間	対価（円）	距離（km）	運行数	旅客実数	登録者数
2月	2時間30分	5,000	32.3	9	5	14
3月	8時間30分	17,000	123.4	28	8	16
4月	10時間30分	21,000	113.4	42	7	17
5月	5時間30分	11,000	85.5	22	9	14
6月	7時間45分	15,500	106.5	31	8	14
7月	6時間45分	13,500	81.4	27	5	15
8月	6時間15分	12,500	79.1	25	6	13
9月	6時間30分	13,000	79.2	26(1)	7	11

※ 運行数のカッコ内の数字はコールセンターによる予約数、その他はタブレットによる予約

4. 具体的取組みに対する評価

川北（H28.5.23 運行開始）

月	時間	対価（円）	距離（km）	運行数	旅客実数	登録者数
5月	30分	1,000	10.0	2	1	3
6月	2時間15分	4,500	37.0	9	2	4
7月	0分	0	0.0	0	0	4
8月	0分	0	0.0	0	0	4
9月	45分	1,500	15.0	3(3)	2	3

※ 運行数のカッコ内の数字はコールセンターによる予約数、その他はタブレットによる予約

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

- コミュニティバスにおいては、平成27年11月の運行見直しや平成28年9月のフリー乗車券の料金の一部見直しにより、全体としての利用者数は増加傾向にあるが、現在でも路線によっては、利用者数が減少している。また、フィーダー系統においては、4路線中1路線が目標値を下回っており、これらを受け、今後、地域内フィーダー系統確保維持計画における目標値を設定する際には、今回の実績を元に設定する必要があると考えている。また、他の交通機関とのバランスも考慮しながら、路線の再編の検討も進めていく必要があると考えている。
- あいあい自動車においては、実証運行中ではあるが、予約に使うタブレットの利用料が月額1,300円程度必要となることもあり、登録者数が伸びていない。また、通院以外での利用に関しては、地域の方による送迎であることから遠慮してしまうということもあり、利用が伸びない傾向にあり、今後はこれらの課題を踏まえてより利用しやすい環境づくりに努めていきたいと考えている。
- 「菰野町地域公共交通のあり方検討会」での協議を踏まえ、以下の取組みを実施している。
 - ・ コミュニティバスの利用者アンケート、運転者への聞き取り調査
 - ・ あいあい自動車の会員アンケート
 - ・ 路線バス、タクシーのOD調査
 - ・ 地域公共交通に関する町民アンケート（実施予定）

1. 直近の第三者評価の活用・対応状況

第三者評価未実施

2. アピールポイント

- コミュニティバスについては、運行開始からおよそ10年が経ち、利用者数が減少傾向にあったため、平成27年11月から以下の見直しを行った。
 - ・通勤・通学バス（朝夕便）の増便
 - ・近鉄湯の山線、三重交通高速バスへのアクセスの向上
 - ・利用者数が少ない便の廃止・時間帯の変更
 - ・茶屋の上線・大羽根線（日中バス）の統合また、平成28年9月から、子育て支援の一環として通学者の利便性を図るとともに、高齢者や障がい者がより使いやすい料金設定とするため、フリー乗車券の料金を一部見直した。
- 地域の高齢者からの通院や買い物などへの利用するための移動手段の確保の要望や、今後の高齢化社会に対応するための施策の1つとして、平成28年2月から町社会福祉協議会が運行主体となり、あいあい自動車（公共交通空白地有償運送）を開始した。
- あいあい自動車については1年間の実証運行という条件で事業を開始しており、その間の他の交通事業者への影響を検証することと併せて、町内の最適な交通体系を構築することを目的に、「菰野町地域公共交通のあり方検討会」を開催し、学識経験者、交通事業者、住民代表、中部運輸局、町社会福祉協議会、行政などによる協議を行っている。また、検討会での協議を踏まえ、以下の取組みを実施している。
 - ・コミュニティバスの利用者アンケート、運転者への聞き取り調査
 - ・あいあい自動車の会員アンケート
 - ・路線バス、タクシーのOD調査
 - ・地域公共交通に関する町民アンケート（実施予定）

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月 日

協議会名: 菰野町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
三重交通株式会社	日中バス 1コース 神森福王山線 菰野駅前発⇒福王山着	第1回目の評価	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	A 目標値に対する利用者は476.8%であり、目標値を大きく上回った。	目標値の設定を今回の実績を元に設定し直す必要があると考えている。また、コミュニティバス以外の公共交通とのバランスを図りながら、再編に向けた検討を進める。
三重交通株式会社	通勤・通学バス 6コース 潤田福王山線 福王山発⇒菰野東着	第1回目の評価	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	C 目標値に対する利用者は51.1%であり、目標値を大きく下回った。	目標値の設定を今回の実績を元に設定し直す必要があると考えている。また、コミュニティバス以外の公共交通とのバランスを図りながら、再編に向けた検討を進める。
三重交通株式会社	通勤・通学バス 6コース 潤田福王山線 菰野駅前発⇒福王山着	第1回目の評価	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	A 目標値に対する利用者は131.9%であり、目標値を上回った。	目標値の設定を今回の実績を元に設定し直す必要があると考えている。また、コミュニティバス以外の公共交通とのバランスを図りながら、再編に向けた検討を進める。
三重交通株式会社	通勤・通学バス 7コース 竹永小島線 小島集落センター⇄菰野駅前	第1回目の評価	A 運行開始日以降、計画どおり運行している。	A 目標値に対する利用者は128.8%であり、目標値を上回った。	目標値の設定を今回の実績を元に設定し直す必要があると考えている。また、コミュニティバス以外の公共交通とのバランスを図りながら、再編に向けた検討を進める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月 日

協議会名:	菰野町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>町内の最適な交通体系を構築することを目的に、「菰野町地域公共交通のあり方検討会」を開催し、学識経験者、交通事業者、住民代表、中部運輸局、町社会福祉協議会、行政などによる協議を行っている。また、検討会での協議を踏まえ、以下の取組みを実施している。</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニティバスの利用者アンケート、運転者への聞き取り調査・あいあい自動車の会員アンケート・路線バス、タクシーのOD調査・地域公共交通に関する町民アンケート(実施予定)